

多様な主体づくりを促進することで、地域を創る人を育て、市民主体のコミュニティ形成につなげます。

### ③ 男女共同参画社会の形成

男女がお互いに対等なパートナーであることを認識し、あらゆる分野で均等に利益を享受するとともに責任を担う男女共同参画社会の形成をめざし、さらに積極的な施策を進めます。

### ④ 外国籍市民との共生

国際社会の一員として豊かな国際感覚を身につける機会を積極的に設けるとともに、地域に暮らす外国籍市民と交流を深め、互いに理解し合い、快適に暮らせる社会づくりを進めます。

## 5 構想の実現に向けて

構想の実現にあたっては、「市・市民、団体、事業者」との相互理解、信頼に基づき、「みんなでつくる」という協働意識が不可欠です。

### (1) 分権型社会とパートナーシップ

本格化する分権型社会においては、「自己決定・自己責任」が求められています。そこで、今後のまちづくりを進めるにあたっては、「市・市民、団体、事業者」みんなが協働の立場に立つことがますます大切となります。

そのためには、本市では、市民の知りたい情報の公開をはじめ、市民ニーズに合わせた市政情報の迅速な提供システムの充実や市民の意見・提案が活かせるシステムづくりにつとめるとともに、市政へのチェック機能を含めた直接・間接的で多様な市民参加の機会拡充を図り、協働によるまちづくりを推進します。

### (2) 都市経営の視点に立った行財政運営

#### ① 行政運営

多様化、複雑化する行政課題や本格化する分権型社会の到来にともなう役割の変化に速やかに対応するために、行政の担う社会的役割をふまえながら、柔軟な組織編制などの改革や人材開発につとめ、総合的、効率的な行政運営を進めます。

#### ② 財政運営

本市の創造性や自律性を高め積極的な施策の展開を可能にするため、事業の優先度や効果、評価をふまえ、限られた財源を有効かつ効率的に活用しながら、質の高い計画的な財政運営を進めます。

#### ③ 広域行政

市民の日常生活圏の拡大とともに、環境問題や高齢社会の到来といった社会的な動向と関連して、行政課題の解決は、本市にとどまらない広域的な視点や連携の中での取り組みがますます必要となっています。

そのため、国・県や近隣自治体はもとより、市民やさまざまな団体との連携を進めながら、課題解決を図っていきます。

また、本市が首都圏有数の人口規模や自然を有していること、首都圏30kmという好立地条件や担うべき役割などを意識しながら、県南西部地域の中心都市として積極的に広域行政を進めます。

## 第3部 資料編

### 1 計画策定体制図

### 2 計画の策定経過

### 3 総合計画審議会への諮問・答申

### 4 市民委員会の足跡

### 5 総合計画審議会名簿

### 6 市民委員会名簿

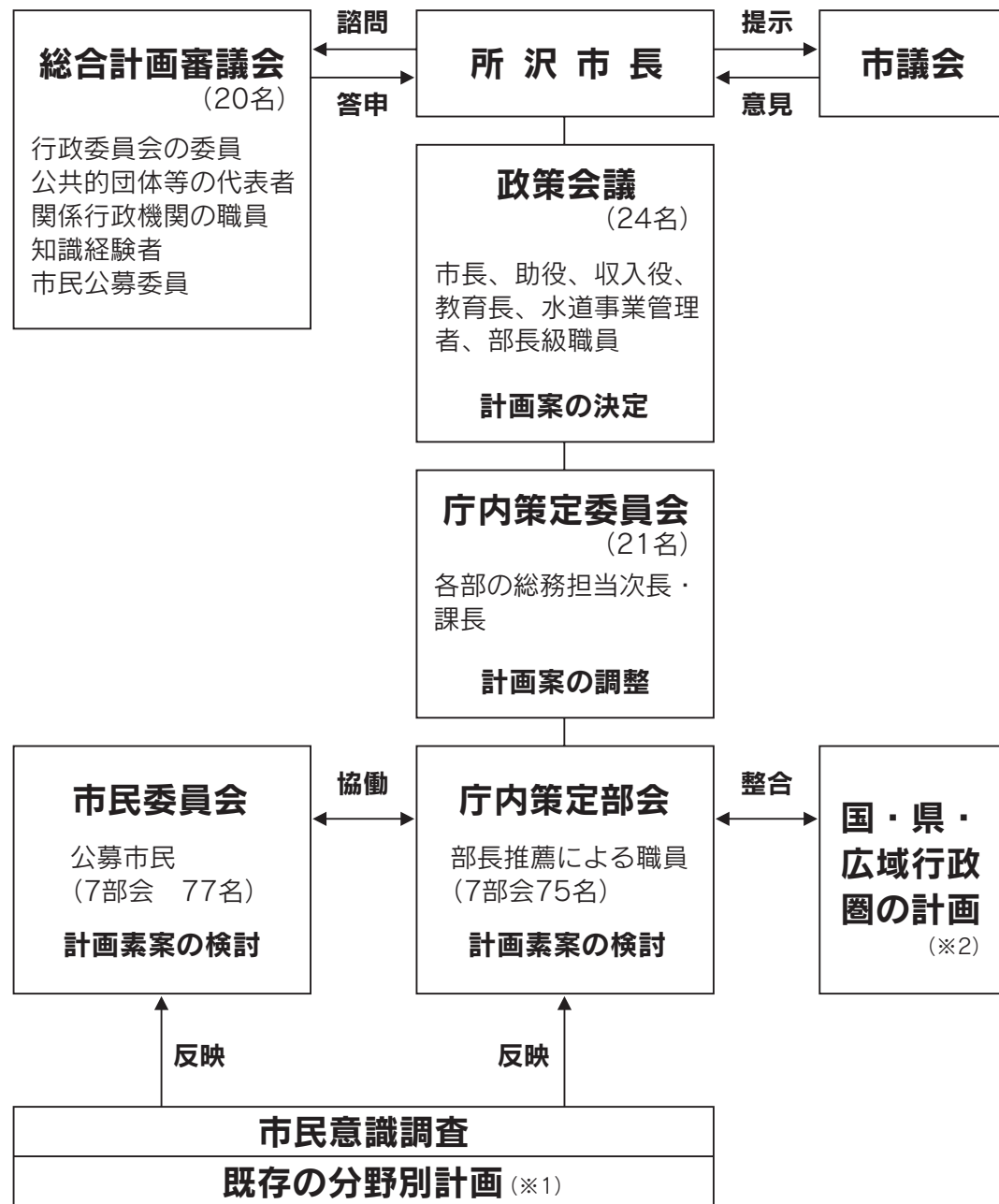
### 7 政策会議名簿

### 8 庁内策定委員会名簿

### 9 庁内策定部会名簿

# 1 計画策定体制図

後期基本計画は、「みんなでつくる」の基本方針に基づき、次のような体制で策定しました。



※1：本市では、環境や福祉をはじめ幅広い分野で多くの市民の参加を得た、協働による各種のまちづくり計画が策定されていますので、これら既存の分野別計画を十分反映した計画策定を進めました。  
 ※2：広域行政圏の計画は、所沢市・狭山市・入間市・飯能市の4市で構成する「埼玉県西部まちづくり協議会」が、共通の課題に対応するための「埼玉県西部地域まちづくり計画」を策定していますので、その計画との整合を図っています。

# 2 計画の策定経過

年 月 日	内 容
平成15(2003).11	市民意識調査の実施 対象者5,000名(回収率44.6%)
平成16(2004).4.20	政策会議で「計画の策定方針」を決定
5	庁内策定部会(7部会)を発足 平成16(2004)年度末までに延80回の部会開催
6.25	庁内策定部会の部会長、副会長で構成する企画運営会議を開催 平成17(2005)年4月までに10回開催
7.1~14	市民委員会委員の公募
7.24	第1回市民委員会ワークショップ(説明会)
8.28	第2回市民委員会ワークショップ(所沢市の「良い点」「問題点」について)
9.1	第1回庁内策定委員会
10.16	第3回市民委員会ワークショップ(今後5年間に重点的に取り組む課題と事業)
12.11	第4回市民委員会ワークショップ(各節の基本方針と施策体系)
平成17(2005).1.19	第2回庁内策定委員会
1.24	第1回総合計画審議会(諮問)
2.26	第5回市民委員会ワークショップ(5年後の目標と素案作成調整)
3.31	後期基本計画「素案」完成
4.15	政策会議で「素案」説明
〃	第2回総合計画審議会
4.19	第3回庁内策定委員会
4.22	市議会全員協議会で「素案」説明
4.23	第6回市民委員会ワークショップ(素案発表会)
5. 上旬	市議会各会派に「素案」説明
5.11	第4回庁内策定委員会
6.6	第5回庁内策定委員会
7.11	第6回庁内策定委員会
8.5	第7回庁内策定委員会
8.29	第3回総合計画審議会
8.30	政策会議に策定作業の中間報告
10.1~31	パブリックコメント手続による「計画案」への意見募集
10.1	「計画案」のPR活動(所沢駅西口ワルツビル前)
10.8	「計画案」説明会(三ヶ島公民館)
10.11	政策会議で「計画案」報告
10.15	「計画案」説明会(柳瀬公民館)
10.22	「計画案」説明会を兼ねた第7回市民委員会ワークショップ(市役所)
10.24~26	「計画案」のPR活動(市役所1階ロビー)
11.18	市議会全員協議会に「計画案」説明
11.24	第8回庁内策定委員会
11.28	第4回総合計画審議会
平成18(2006).1.17	政策会議で「計画案」を決定
1.18	市議会に「計画案」提示
2.1~	パブリックコメント手続結果の公表
2.17	第5回総合計画審議会(答申)

### 3 総合計画審議会への諮問・答申

所 政 第174号  
平成17年1月24日

所沢市総合計画審議会会長 様

所沢市長 斎藤 博

#### 第4次所沢市総合計画・後期基本計画(案)について (諮問)

本市では、地方自治法第2条第4項の規定に則り、総合的かつ計画的な行政運営を図るため、平成13年3月、計画期間を平成13年度から平成22年度までの10年間で定めた『第4次所沢市総合計画・基本構想』を策定し、併せて、本構想に基づく『基本計画』を前期及び後期の5年ごとに策定することといたしました。

そこで、『前期基本計画』の計画期間が平成17年度をもって終了するにあたり、平成18年度から平成22年度を計画期間とする『後期基本計画』を策定いたします。

現在、策定作業は、誰にもわかりやすい計画づくりを目指し、80名の公募市民による『市民委員会』と75名の職員による『庁内策定部会』が協働して、平成17年3月を目途に『後期基本計画(素案)』の作成を行っているところであります。

つきましては、本素案を踏まえ、所沢市総合計画審議会条例第2条の規定に基づいて、『後期基本計画(案)』の策定について諮問いたします。

平成18年2月22日

所沢市長 斎藤 博 様

所沢市総合計画審議会  
会長 喜多濃 敏 順

#### 第4次所沢市総合計画・後期基本計画(案)について (答申)

平成17年1月24日付所政第174号にて諮問を受けたこのことについて、下記のとおり答申します。

#### 記

本市の第4次総合計画は、その基本構想において、「人間尊重・生活優先・文化重視」を基調とし、「人と地球を愛するまちづくり」を基本理念として、将来都市像を「ゆとり・うるおい・活力ある生活文化都市」と定め、21世紀初頭のまちづくりの方向性を示しています。

このたび、この基本構想の実現に向け、諮問された「後期基本計画(案)」について本審議会で慎重に審議した結果、その内容は全体として妥当なものであると考えます。

今後、この計画の推進にあたっては、市民の協力と理解を求めながら、積極的な施策の展開を図ることを望みます。

### 4 市民委員会の足跡

平成16(2004)年7月、後期基本計画の素案づくりを担当する『市民委員会』が発足しました。市民委員会は、市内在住・在勤の公募市民77名(男性56名、女性21名)により構成され、職員75名で構成された庁内策定部会(男性65名、女性10名)と共に、まちづくりの目標にあわせて7つの班に分かれ、協働で素案づくりを進めました。検討は、ワークショップ方式により、庁内策定部会が提案する「たたき台」をもとに議論し、5回の全体ワークショップのほか、部会によっては臨時的ワークショップや自主勉強会を開催しました。

【まちづくりの目標】	【7つの班】(構成人数)
緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち.....	▶ 都市環境班(13名)
安全・安心で快適な住みよいまち.....	▶ 都市基盤班(12名)
豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち.....	▶ 社会福祉班(9名)
いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち.....	▶ 生涯学習・スポーツ班(11名)
にぎわいと活力に満ちた魅力あふれるまち.....	▶ 産業経済班(10名)
みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち.....	▶ 安全・コミュニティ班(10名)
人々がふれあう温かいまち.....	
【構想の実現に向けて】	
分権型社会とパートナーシップ.....	▶ 行財政運営班(12名)
都市経営の視点に立った行財政運営.....	

#### ◆市民委員会ワークショップ

第1回：平成16(2004)年7月24日

『ワークショップをはじめるにあたって』

後期基本計画の策定方針に基づき、5回のワークショップの進め方を説明した後、7つの班分けを行いました。また、ワークショップを進める上での基本ルールについて確認しました。

第2回：平成16(2004)年8月28日

『所沢市の良い点、問題点』

KJ法により、班ごとに所沢市の「良い点」「問題点」をカードに記入し、発表しながら参加者相互の認識を深めていきました。カードは項目ごとに分類し、項目名をつけて整理しました。

第3回：平成16(2004)年10月16日

『今後5年間に重点的に取り組む課題と事業』

前回ワークショップで整理した「良い点」「問題点」をふまえ、庁内策定部会が用意した資料をもとに、前期基本計画からの継続課題と事業、後期基本計画の新規課題と事業などについて、施策体系とも関係づけながら参加者で共有していきました。

第4回：平成16(2004)年12月11日

『基本方針、施策体系』

前回ワークショップで検討した主要計画事業や施策体系などをもとに、庁内策定部会が用意した「基本方針案」「施策体系案」のたたき台に基づき、市民の生活実感からの意見を出しながら、職員も交えて議論しました。



第5回：平成17(2005)年2月26日

『5年後の目標と素案作成』

前回ワークショップまでに整理された施策体系、基本方針、主要計画事業をもとに、庁内策定部会が用意した「素案たたき台」に基づき、5年後の目標指標や目標値の設定などについて活発に意見が交わされました。また、素案たたき台の文言や表現の整理を行い、素案の作成に向けて最終的な調整をはかりました。

第6回：平成17(2005)年4月23日

『素案発表会』

平成16(2004)年度中の検討によりまとめられた「後期基本計画・素案」について、素案発表会を開催しました。前半は、各班の市民委員代表、庁内策定部会会長が、3分ずつ素案に関しての意見を発表し、後半は、素案を拡大コピーしたものを会場に貼り出し、市民委員が自由にみまわり、素案全体について内容を確認し、意見を出し合い、市民委員会と庁内策定部会の共通認識をはかりました。

第7回：平成17(2005)年10月22日

『後期基本計画(案)説明会』(一般参加者同席)

市民委員会と庁内策定部会が協働でつくった「後期基本計画・素案」をもとに、平成17(2005)年4月以降の庁内調整や審議会、市議会等の意見を受けてまとめた「後期基本計画(案)」について説明会を開催しました。前半は、素案から変更になった部分などを含め計画案の概要を政策企画課が説明し、後半は、会場に貼り出されている計画案を拡大コピーしたものを市民委員が自由にみまわり、意見を出し合いました。

## 5 総合計画審議会／名簿

(順不同・敬称略)

会長	喜多濃 敏 順	知識経験者 (前審議会会長)
副会長	市川 雅 巳	知識経験者 (前審議会副会長)
委員	鈴木 邦 治	行政委員会の委員 (教育委員)
〃	平岡 久 司	行政委員会の委員 (農業委員)
〃	平岩 宗 敏	公共的団体等の代表者 (商工会議所)
〃	勝場 政 範	〃 (自治連合会)
〃	鈴木 喜代子	〃 (社会福祉協議会)
〃	土方 良 成	〃 (青年会議所)
〃	道又 正 秀	〃 (子ども会育成会連絡協議会)
〃	虎本 久美子	〃 (連合婦人会)
〃	鎌田 稔	〃 (環境推進員協議会)
〃	吉澤 利 文	関係行政機関の職員 (埼玉県西部地域創造センター)
〃	廣瀬 克 哉	知識経験者 (法政大学法学部教授)
〃	河西 宏 祐	〃 (早稲田大学人間科学部教授)
〃	赤津 純 子	〃 (秋草学園短期大学教授)
〃	横川 眞 顯	〃 (日本大学芸術学部教授)
〃	谷本 治 重	市民公募委員
〃	古山 壽 郎	〃
〃	小黒 讓 司	〃
〃	椎 葉 迅	〃
前委員	篠崎 孝 夫	関係行政機関の職員 (埼玉県西部地域創造センター)

## 6 市民委員会／名簿

(50音順・敬称略)

### 【都市環境班】

安藤 有輝 (新座市)  
 植野 茂 (けやき台)  
 北浦 恵美 (中新井)  
 小林 好作 (北秋津)  
 寒川 光昭 (並 木)  
 鈴木 治男 (中 富)  
 鈴木 真紀 (中 富)  
 高松 徹郎 (小手指町)  
 田中 里司 (中 富)  
 野田 泰男 (和ヶ原)  
 芳賀 栄士 (向陽町)  
 原 衛 (山 口)  
 皆川 明慶 (南住吉)

### 【生涯学習・スポーツ班】

阿部智恵子 (美原町)  
 五十嵐俊昭 (青葉台)  
 栗田 良蔵 (けやき台)  
 甲田 和巳 (久 米)  
 佐々木利光 (狭山ヶ丘)  
 林 隆弘 (狭山ヶ丘)  
 松本早奈英 (東所沢)  
 村島 淑子 (榎 町)  
 本谷 幸夫 (元 町)  
 矢野 孝 (小手指南)  
 渡辺 悦子 (小手指町)

### 【行財政運営班】

植村 嘉文 (けやき台)  
 神武 恭子 (並 木)  
 小柳 博之 (上安松)  
 須田正治郎 (御幸町)  
 田沢真佐子 (中富南)  
 服部 直三 (小手指南)  
 平林美枝子 (下 富)  
 港 寿子 (向陽町)  
 村島 完治 (榎町)  
 山本 修治 (東町)  
 横山 静 (東所沢和田)  
 吉戸 勝 (久 米)

### 【都市基盤班】

鶴足津和子 (宮本町)  
 梶谷 和義 (南住吉)  
 小森 誠 (くすのき台)  
 座主 利夫 (山 口)  
 嶋内 紀光 (小手指南)  
 白井 隆 (松ヶ丘)  
 杉崎 和久 (小手指町)  
 西野谷 旅 (けやき台)  
 廣田 宏二 (和ヶ原)  
 藤原 敏郎 (松ヶ丘)  
 三井 郷己 (山 口)  
 牟田口 英 (久 米)

### 【産業経済班】

池田 葉子 ( 城 )  
 伊藤 訓利 (松葉町)  
 伊藤 弘 ( 城 )  
 高橋 興基 (宮本町)  
 玉城 治彦 (小手指町)  
 長沼 浩 (上新井)  
 南雲 邦雄 (中新井)  
 那須 克廣 ( 林 )  
 藤澤 景恵 (泉 町)  
 本橋 満 (岩岡町)

### 【社会福祉班】

小谷 栄子 (下 富)  
 志波原一郎 (中新井)  
 清水ミヤ子 (若松町)  
 鈴木 延子 (東所沢和田)  
 檀浦 洋美 (緑 町)  
 早田 文仁 (東所沢)  
 丸山 光子 (上新井)  
 宮武 恭子 (上新井)  
 山田 幸代 (北 中)

### 【安全・コミュニティ班】

井花 敏雄 (小手指町)  
 小久保修二 (上山口)  
 斉藤 公治 (くすのき台)  
 春山 久雄 (中新井)  
 日向野邦人 (泉 町)  
 増田 綾子 (小手指町)  
 松村 悦子 (東所沢)  
 松本 勇 (北 野)  
 三村 卓 (弥生町)  
 山本 正典 (北有楽町)

## 7 政策会議／名簿

市長	斎藤 博
助役	深田 武正
助役	加藤 恒男
収入役	小澤 孝
教育長	鈴木 秀昭
水道事業管理者	志村 勝美
総合政策部長	西久保 正一
危機管理担当理事	竹内 利明
財務部長	澁谷 好彦
市民経済部長	斎藤 清
保健福祉部長	小野 民夫 (平成18(2006)年1月から)
	小松山 正幸 (平成17(2005)年12月まで)
環境クリーン部長	高麗 潔 (平成18(2006)年1月から)
	川原 賢三郎 (平成17(2005)年12月まで)
まちづくり計画部長	中澤 貴生
中心市街地整備担当理事	永田 幸雄
道路公園部長	高橋 晴夫
下水道部長	石井 忠男
市民医療センター事務部長	溝井 敏男 (平成18(2006)年1月から)
事務部長	小暮 欽三 (平成17(2005)年12月まで)
監査事務局長	静谷 精二 (平成18(2006)年1月から)
	市川 義雄 (平成17(2005)年12月まで)
議会事務局長	荒畑 正明
教育総務部長	大沢 賢 (平成18(2006)年1月から)
	二見 孝 (平成17(2005)年12月まで)
学校教育部長	佐藤 徳一
消防長	森田 勝治
水道部長	星野 協治

## 8 庁内策定委員会／名簿

委員長	小野 民夫 (保健福祉部長、前総合政策部次長)
副委員長	福島 宏 (道路公園部建設総務課担任次長)
委員	本間 幹朗 (財務部財政担当参事兼財政課長事務取扱)
〃	荒幡 千鶴子 (市民経済部コミュニティ推進課担任次長)
〃	黒田 信幸 (保健福祉部福祉総務課担任次長)
〃	山下 伊和雄 (環境クリーン部環境総務課担任次長)
〃	静谷 精二 (監査事務局長、前まちづくり計画部次長)
〃	滝瀬 敏男 (下水道部下水道総務課担任次長)
〃	溝井 敏男 (市民医療センター事務部長、前教育総務部教育総務課担任次長)
〃	富澤 行雄 (教育総務部総務担当参事兼教育総務課長事務取扱)
〃	浅野 幹雄 (学校教育部次長兼学校教育課長事務取扱)
〃	北田 英雄 (消防本部次長)
〃	村上 光利 (文書行政課長)
〃	田畑 喜久男 (コミュニティ推進課長)
〃	梅田 実 (福祉総務課長)
〃	堀中 雅寛 (環境総務課長)
〃	新堀 祐蔵 (都市計画課長)
〃	勝呂 一夫 (建設総務課長)
〃	藤巻 和仁 (下水道総務課長)
〃	高橋 佳雄 (市民医療センター総務課長)
〃	桑野 博司 (水道部総務課長)
〃	小高 章 (消防本部総務課長)
前委員	原島 明 (検査室長)
〃	笹原文 男 (政策企画課長)

## 9 庁内策定部会／名簿

部会長 副部会長

### 【都市環境部会】

- ◎高橋巳喜次（都市整備課）
- 大館 真哉（環境対策課）
- 青木 千明（廃棄物対策課）
- 市川 英雄（道路建設課）
- 荻野 亨（みどり公園課）
- 大澤 稔（環境総務課）
- 大野 義彦（東部クリーンセンター）
- 高橋 孝治（建築指導課）
- 並木 和人（障害福祉課）

### 【都市基盤部会】

- ◎諸星 広行（計画道路整備課）
- 濱中 保身（水道部建設課）
- 井上 直樹（下水道総務課）
- 榎本 行男（河川課）
- 河口 裕孝（都市計画課）
- 駒井三千男（水道部総務課）
- 高具 真一（中心市街地整備課）
- 中島 忠昭（下水道建設課）
- 村上 和雄（職員課）
- 矢沢 信男（交通安全課）
- 吉野 禎一（交通安全課）

### 【社会福祉部会】

- ◎梅田 実（福祉総務課）
- 鏡 諭（高齢者いきがい課）
- 秋下 健治（福祉総務課〈豊島区からの派遣職員〉）
- 荒幡 憲作（消防本部救急課）
- 市川 勝也（子ども支援課）
- 内野 正美（高齢者いきがい課）
- 小古井一樹（情報統計課）
- 田畑 貴史（交通安全課）
- 並木 教至（保育課）
- 平田 仁（成人保健課）
- 吉田 茂（生活福祉課）

### 【生涯学習・スポーツ部会】

- ◎藤田 晃（教育総務課）
- 大河原武志（青少年課）
- 池田 淳（生涯スポーツ課）
- 稲田 里織（社会教育課）
- 糟谷 実（保健給食課）
- 中島岐視生（文化財保護課）
- 野村 義男（生涯スポーツ課）
- 松本しのぶ（資産税課）
- 丸山 昇（学校教育課）
- 山屋 貴裕（コミュニティ推進課）

### 【産業経済部会】

- ◎二上 清治（農政課）
- 肥沼 重治（中心市街地整備課）
- 青木 邦雄（商工労政課）
- 金子 真一（生活福祉課）
- 小暮 一雄（商工労政課）
- 斉藤 邦彦（資産税課）
- 須田 静男（農業委員会）
- 深田 和彦（契約課）
- 福田 康宏（市民税課）
- 山岸 憲一（農政課）

### 【安全・コミュニティ部会】

- ◎石川 幸一（コミュニティ推進課）
- 二上 茂雄（道路維持課）
- 小山 貴之（男女共同参画室）
- 新井 隆（消防本部警防課）
- 新井 直幸（交通安全課）
- 上松 年通（消防本部総務課）
- 木下 哲（選挙管理委員会）
- 黒田 友子（山口公民館）
- 小山 幸一（危機管理課）
- 近藤 真希（市民課）
- 新藤 敦子（議会事務局）
- 田島 直子（教育総務課）
- 堀口 幸夫（消防本部予防課）
- 守谷 秀明（文書行政課）

### 【行財政運営部会】

- ◎坂本 博典（財政課）
- 倉富恵理子（市民相談課）
- 池田 康徳（秘書広報課）
- 加藤 玲子（管財課）
- 仲 文雄（収税課）
- 中村比呂美（監査事務局）
- 並木 茂幸（財政課）
- 野島 博行（出納室）
- 宮坂 利幸（情報統計課）
- 吉永 寿久（契約課）

## 10 事務局

### 総合政策部政策企画課

- 課長 笹原 文男
- 主幹 山崎 裕司
- 主幹 本田 静香
- 副主幹 須田 春男
- 主査 植村 里美
- 主任 小池 純一

### 早稲田大学インターンシップ(H16)

- 鈴木 陸洋
- 本山 裕子

